

# 神出シニアコミュニティ

## 平成28年度事業計画

### < 法人理念 >

目と手に心をそえて

### < 施設理念 >

私たちはご利用者やご家族に安心していただけるようサービスの向上に努めるとともに、ご利用者との心と心が触れ合う施設を目指します。

### < 基本方針 >

1. 私たちは、専門職として向上心を持ち、知識の習得に努めます。
2. 私たちは、専門職として向上心を持ち、技術の習得に努めます。
3. 私たちは、専門職として真心込めた、温もりあるサービスを提供します。

### < 従業員数 > (平成28年4月1日現在)

正職員	57名	(男22名 女35名)	
P職員	37名	(男5名 女32名)	合計94名

### < 目次 >

- ・法人・施設本部
- ・特別養護老人ホーム 神出シニアコミュニティ
  - 生活相談員
  - ショートステイ生活相談員
  - 介護支援専門員
  - 介護職員（本館1F、本館2F、北館1F、北館2F）
  - 看護師
  - 管理栄養士
- ・神出シニアコミュニティ デイサービスセンター
- ・神出シニアケアプランセンター

## ● 法人本部

今期のテーマ 社会福祉法人制度改革に向けた体制作り

今期計画

1. 定款の変更
2. 評議委員（7名）の選任（評議委員会の設置）準備
3. 理事・理事会の権限、選任に係る規定（定款）の準備
4. 監事の選任準備
5. 会計監査人の設置準備
6. 社会福祉法人の財務規律への対応

※ 平成29年4月1日施行される社会福祉法人制度改革に向けた体制整備を実施。未だ不明瞭なところもあることから、その都度準備していく。

## ● 施設本部

今期のテーマ 中・長期事業計画への取組

今期計画 別紙中・長期事業計画参照

## ● 特別養護老人ホーム 神出シニアコミュニティ

特養入所定員	100名
SS入所定員	20名
介護正職員数	32名（男15名 女17名 介護福祉士有資格者19名）
介護P職員数	25名（男 1名 女24名 介護福祉士有資格者 6名）
看護師職員数	7名 人員配置 2.39：1

### < 生活相談員 >

今期のテーマ 家族との信頼関係の構築

今期の計画 1. 実質稼働率97%の達成  
2. 人材の育成・地域貢献を更にすすめていく

#### 1. 実質稼働率97%の達成

##### (1) 人員管理

- ① 速やかな新入所のための、入所検討委員会の充実を図る。
- ② 退所後の速やかな新入所の日程調整。
- ③ 入院者の管理（病院への面会等）を行い、症状を把握、病院MSWとの連携強化に努め、退院許可後の日程調整を行う。また、退院が見込まれない時は、ご家族と相談し、今後の対応を早急に決定する。
- ④ 入院ベッドのSS利用を更に進める。
- ⑤ 病院・老健施設の新規開拓により利用者の紹介を受ける。
- ⑥ 終末期介護の充実を図る。

##### (2) 家族

- ① 家族会の定期的な開催。
- ② 家族との交流の機会を確保する。
- ③ 家族とのコミュニケーションを図り、要望・ニーズを捉える。
- ④ 家族会構築に向けた下地作り。

##### (3) 行事

- ① 四季に応じた行事を実施する。
- ② 利用者が楽しめる行事を提供する。
- ② 外出の機会を提供する。

##### (4) 地域貢献・地域交流

- ① 「まちの保健室」の計画・運営。
- ② 地域の人が施設に足を運べるような環境作り。

##### (5) 人材育成

- ① 法人理念や施設基本方針等の周知へ向けた研修を実施し、全職員に共通理解を徹

底させる。

## < ショートステイ生活相談員 >

今期のテーマ 日常生活において計画書をもとに個別のケアを実施。  
相談員初め各専門職とのコミュニケーションをとり、適切なサービスの提供により、安心してご利用いただく。

今期の計画 1. 他の事業所との連携・情報交換を強化  
2. 稼働率100%の維持  
3. 余暇時間の充実・温もりのある居室環境  
4. 地域に進出  
5. チームケアの向上

### 1. 他の事業所との連携・情報交換を強化

- ① サービス担当者会議への参加。
- ② 定例相談会への参加。(年2回)
- ③ 臨時対応、利用時の様子連絡。

### 2. 稼働率100%の維持

- ① 新規利用者のリピーターを作る。
- ② 入所者の空きベッド対応。(特養相談員との、連携を図る)
- ③ 緊急時の受入れ(介護者の入院、病院退院時等)
- ④ 特養行事(花見)の家族参加。

### 3. 余暇時間の充実・暖もりのある居室環境

- ① 午前中等余暇の時間の充実。レクリエーションでの体操を取り入れる。
- ② 施設内の活動にとどまらず、外出の機会を設ける。
- ③ 利用者からのニーズにそった環境作りを行う。居室内の装飾工夫。
- ④ ロングショート的生活援助。

### 4. 地域に進出

- ① 神出文化祭、地域の飲食店ドライブなどへの外出支援。

### 5. チームケアの向上

- ① 事故の再発生を防ぐためにも、事故から発生する問題点を、他職種とともに改善していく。(居室での転倒など)
- ② 目配り、気配り、心配りができるような助言を中心に介護職のスキルアップをおこない、個別ケア・統一したケアを行う。
- ③ 各利用者や家族の思いに添ったケアの統一を図る

## < 介護支援専門員 >

今期のテーマ ケアの標準化と個別化の実践できるケアプラン

今期の計画 1. 他職種の専門性を繋げていく  
2. 他職種と協働でケアプランを立案する

### 1. 他職種の専門性を繋げていく

- ① 施設ケアマネジャーとしてのポジショニングを理解して役割を發揮する。
- ② 他職種協働のため、個々の専門性を理解してケアの実践に繋げていく。

### 2. 他職種と協働でケアプランを立案する

- ① モニタリングシート等を活用して、各職種からの意見を抽出する。
- ② サービス担当者会議（ケアカンファレンス）でその内容を検討する。
- ③ 個々の意見を取り入れ、エビデンスに基づき、ケアの標準化と個別化が実践できるケアプランを作成していく。

## < 特養介護職員 >

今期のテーマ 気付ける介護、根拠に基づいた介護を身に付け、  
自律した介護職員を作る。

今期の計画 1. 人材育成の体制の強化  
2. 適切なケアの感性を身に付ける

### 1. 人材育成の体制の強化

- ① 新人～2年目職員の育成
  - ・新人教育カリキュラムの見直し・指導体制を整える。
  - ・チューター制度を導入。
  - ・指導内容・方法の共通化を図る。

- ② 3～5年目職員の育成

- ・介護技術修得のチェック表を作成し達成状況をチェック。
- ・新人の教育担当(チューター)に就かせる。
- ・外部研修への派遣。

### ③ 6年目以降の職員～指導者の育成

- ・上級介護職員育成講座により、平準的な介護技術を取得。
- ・介護プロフェッショナルキャリア段位制度により、介護職員の「実践的スキル」を評価し、個々のレベルを認定できる能力を身に付ける。

## 2. 適切なケアの感性を身に付ける

- ・主任、副主任、リーダーは職員に対し、すぐ実行できるような具体的な指導、アドバイスをを行う。
- ・副主任、リーダーが日々のケアプランの実行状況を確認する。
- ・虐待防止・身体拘束廃止委員会にて、不適切ケアの確認、改善を図る。
- ・事故発生防止委員会を中心に危険予知の訓練を行っていく。

## 各フロアの今期目標・計画

### 【 本館1階 】

ご利用者の気持ちに寄り添ったケアを行い、ご家族との関わりを積極的に持つ。

### 【 本館2階 】

上級介護職員育成講座で知り得た知識、技術をスタッフ間、共有し実践していくことで、介護技術の向上を目指す。

### 【 北館1階 】

状態に合わせたケアの見直しを行い、ケアプランに反映するよう提案していく。

### 【 北館2階 】

温もりのある居室環境を整え、リハビリを兼ねた体操レクリエーションなど余暇活動充実を図る。

## < 看護職員 >

今期のテーマ 利用者ごとに統一した対応を

今期の計画

1. 利用者の情報を共有する。

- ① 報告・連絡・相談の徹底
- ② 情報の共有
- ③ 申し送りノート・連絡ノートの活用

2. 統一した看護を展開する。

- ① 情報の共有
- ② 研修会や勉強会への参加

3. 看護業務について

- ① 入所者の健康管理  
日々の健康管理、健診、予防接種
- ② 往診（内科、精神科、眼科、皮膚科、歯科）の依頼・介助
- ③ ご家族への状態報告
- ④ 看取りケア
- ⑤ カンファレンスの参加、他職種との情報共有
- ⑥ 担当のカルテ整理、サマリーの記入と更新
- ⑦ 入所面談

< 管理栄養士 >

今期のテーマ 安心・安全に配慮した楽しい食事

今期の計画 給食委員会活動を充実させる。

1. 季節感とともに、接遇に配慮した食事提供の視点を大切する。

- ① 年間予定
  - 4月 花見・花見喫茶
  - 5月 創立記念・端午の節句・母の日
  - 6月 父の日・お楽しみ食
  - 7月 七夕・土用の丑の日
  - 8月 敬老会・十五夜・秋分の日
  - 10月 栗名月
  - 11月 七五参
  - 12月 冬至・クリスマス・餅つき・年越し
  - 1月 新年・七草粥・小正月

2月 節分・バレンタインデー

3月 桃の節句・ホワイトデー

- ② デイサービスは独居の利用者も多いので、「一つ屋根の下、共に過ごす時間を、一つの釜を囲む」をテーマとして
  - ・毎月お楽しみ食企画で利用者と過ごす。
  - ・季節の手作りおやつで喫茶を楽しむ
- ③ まちの保健室で地域住民の方に、食事のセルフチェック情報を伝えていく。

## 2. 管理栄養士の業務について

- ① 栄養管理業務（集団）
- ② 栄養管理業務（個人）
- ③ 安全衛生管理
- ④ 給食業務
- ⑤ 給食委員会等諸会議開催・出席
- ⑥ 行政への報告・研修
- ⑦ 実習生受入れ（管理栄養士、栄養士）



## ● 神出シニアコミュニティ デイサービスセンター

利用定員数 35名

介護職員数 9名（男0名 女6名 P職員3名）

看護職員数 2名（女1名 P職員1名）

今期のテーマ 自立支援を中心に生活機能の維持向上のため様々な取り組みを行う面白いデイサービス

今期の計画 延利用人員 7,725人（25人×309日）

1. サービスの質の向上
2. 資質の向上
3. 地域との交流
4. 情報の収集
5. デイサービスフロアにおける衛生環境の改善

### 1. サービスの質の向上

- ① 「自己選択」「自己決定」「自己遂行」の支援は継続し、新たに機能訓練の一環として楽しく体を動かせるよう環境の改善、サービス内容の見直し、職員の意識変革を行い、ご利用者様の「運動への意欲」を引き出していく。
- ③ 機関誌の作成を継続し、現在行っている取り組みを広報する。
- ③ 前年度までの行事計画を見直し、好評なものは継続し、長年続いていた画一的なものの変更し、新たなニーズにあった行事を行う。

### 2. 資質の向上

外部研修や内部研修に参加し、知識を深め、仕事に対して興味を持てるモチベーションの維持を図る。

### 3. 地域との交流

委員会を通して「まちの保健室」の運営に参画。

### 4. 情報の収集

平成29年4月の地域支援事業移行に向け情報の収集と準備を行う。

### 5. デイサービスフロアにおける衛生環境の改善

感染予防、口腔ケア、化粧室の設置を視野に入れデイサービスフロアに新たに洗面台、洗面室、パントリー設置の立案、事故防止の為浴槽の手すりの設置の立案を行う。

## ● 神出シニアケアプランセンター

介護支援専門員数 2名

今期のテーマ 選ばれるケアマネジャーになる

今期の計画

1. スピード感、聴く力、調整力、発信力、交渉力、観察力を常に意識して業務を遂行する
2. 身近な「福祉相談窓口」の相談者（ケアマネジャー）になる
3. 日常生活支援総合事業開始に向け、情報を収集し迅速に対応する

1. スピード感、聴く力、調整力、発信力、交渉力、観察力を常に意識して業務を遂行する

- ① 本人・家族の意思を尊重し、「望む生活を支える」という基本姿勢を重視する。
- ② ケアプランを自立支援という視点で、個別性のある総合的なケアプラン立案ができ、利用者・家族やサービス提供事業者等にきちんと説明ができるようになる。
- ③ 毎月のケアプラン請求件数が上限（70件）件数を達成を目指す。

2. 身近な「福祉相談窓口」の相談者（ケアマネジャー）になる

- ① 多方面から相談が入るように日頃から、各関係機関との顔の見える関係作りを強化し、「福祉相談窓口」としての存在をアピールしていく。
- ② 新規利用者の相談が毎月1件以上入るように広報活動を行う。
- ③ 「まちの保健室」等の開催を通じて、地域住民の方に顔を覚えてもらい、身近な介護の相談者（ケアマネジャー）として認識してもらえる存在になる。

3. 日常生活支援総合事業開始に向け、情報を収集し迅速に対応する。

説明会や研修会に参加して、日常生活支援総合事業に関する情報を収集し対応する。